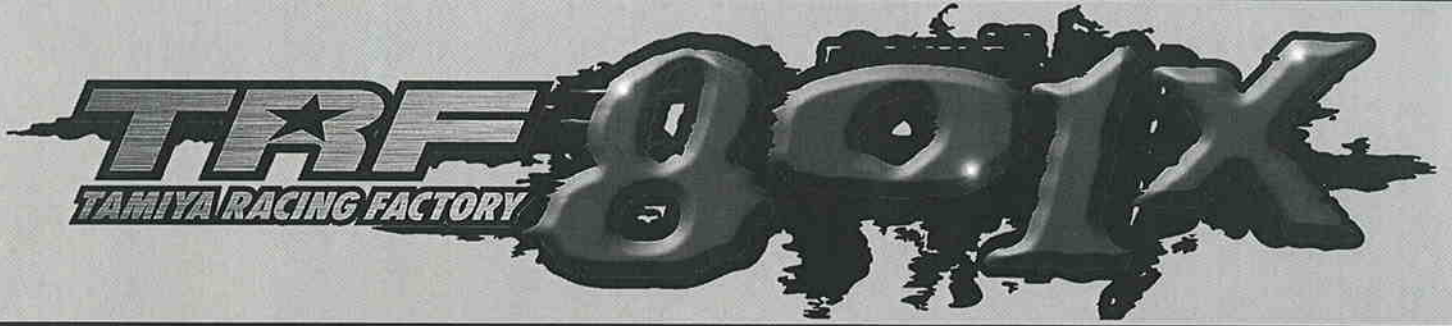


1/8 Scale Nitro Fuel Powered Radio Controlled Race Buggy Chassis Kit



Designed and Tested in the USA



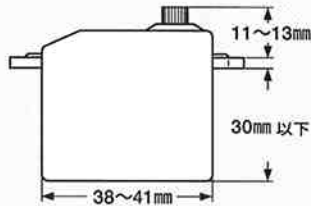
●本キットは、タミヤ・アメリカ製品のため、組み立ては同梱のTRF801X 英文組立説明書を参照してください。補足部分、パーツリストはこの補足説明書に記載しています。

組み立てる前に用意する物

《ラジオコントロールメカ》

このRCカーには、エンジンカー用2チャンネル2サーボプロポセット（サーボトルク6.5kg-cm以上）をご使用ください。
★取り扱いについては、それぞれの説明書をご覧ください。

《使用できるサーボの大きさ》



★小型サーボは搭載出来ません。

《エンジン・マフラー》

21-28タイプエンジンが搭載可能です。マフラー、マニホールドと共にご用意ください。

《燃料とエンジン始動用品》

エンジン特性に合ったグロウエンジン用燃料、エンジンスターターボックスとエンジン始動用品と共にご用意ください。

《走行用タイヤ・ホイール》

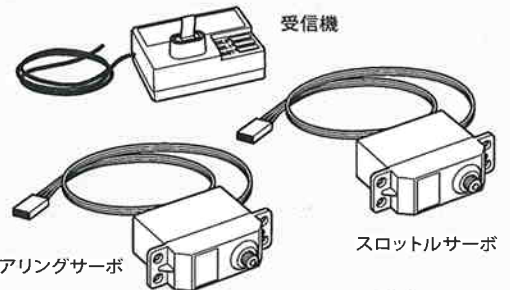
1/8スケールバギー用タイヤ、17mmホイールハブ対応のホイールをご用意ください。

《ボディ塗装用塗料》

ポリカーネート用塗料をご用意ください。タミヤからはスプレー塗料、筆塗り塗料のほか各種塗装用品が発売されています。

エンジンカー用2チャンネル2サーボプロポセット
(ハイトルクサーボ仕様)

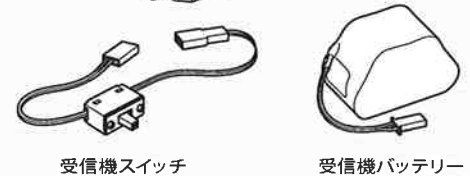
送信機



受信機

ステアリングサーボ

スロットルサーボ



受信機スイッチ

受信機バッテリー

燃料・エンジン始動用品



燃料・エンジン始動用品



エンジンスプレー



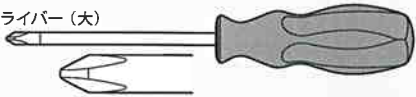
エアフィルターオイル

スターターボックス

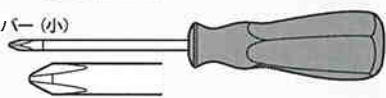


《用意する工具》

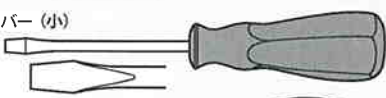
+ドライバー (大)



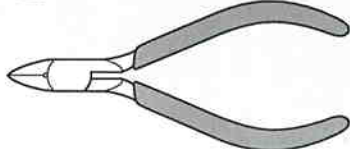
+ドライバー (小)



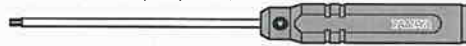
-ドライバー (小)



ニッパー



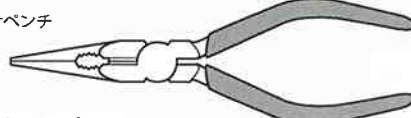
六角レンチ (1.5mm, 2mm, 2.5mm)



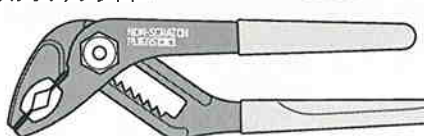
クラフトナイフ



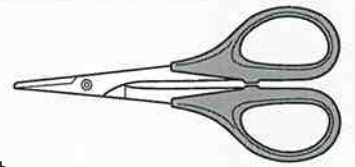
ラジオペンチ



ノンスクラッチプライヤー



はさみ



ピンセット



瞬間接着剤



合成ゴム系接着剤



★この他に、ピンバイスかキリ、エンジン調整用ドライバー、ネジ止め剤が必要です。また、柔らかい布、ヤスリ、Eリングセッターがあると便利です。



★お買い求めの際、また組み立ての前には必ず内容をお確かめください。万一不良部品、不足部品などありました場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。

★小さなビス、ナット類が多く、よく似た形の部品もあります。図をよく見てゆくり確実に組んでください。金具部品は少し多めに入っています。予備として使ってください。

このマークはグリスを塗る部分に指示しました。必ず、グリスアップして、組みこんでください。
このマークはネジロック剤を塗る部分に指示しました。少量をつまようじ等で塗って組み立ててください。

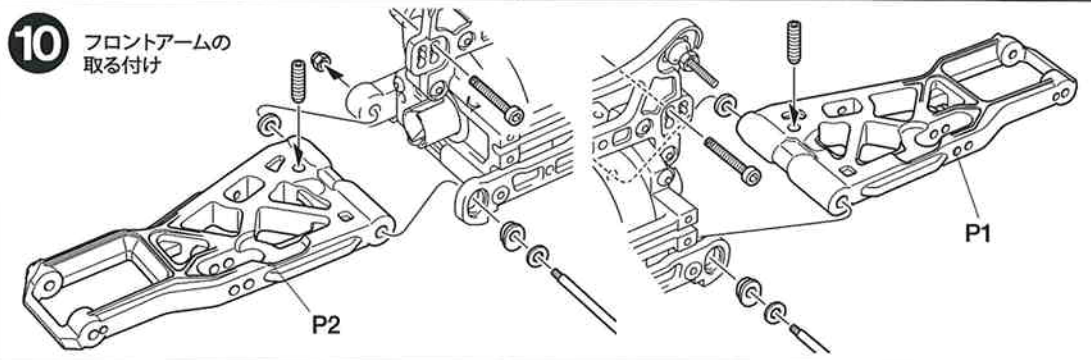
CAUTION

- 組み立てる前に説明図を必ずお読みください。また、保護者の方もお読みください。
- 小さなお子様のいる場所での工作はおやめください。小さな部品やビニール袋を口に入れたりする危険があります。
- 工具で固い物を切らないでください。刃が折れるなどの危険があります。
- 組み立てる時はまわりに注意してください。また、工具を振り回すようなことはやめてください。

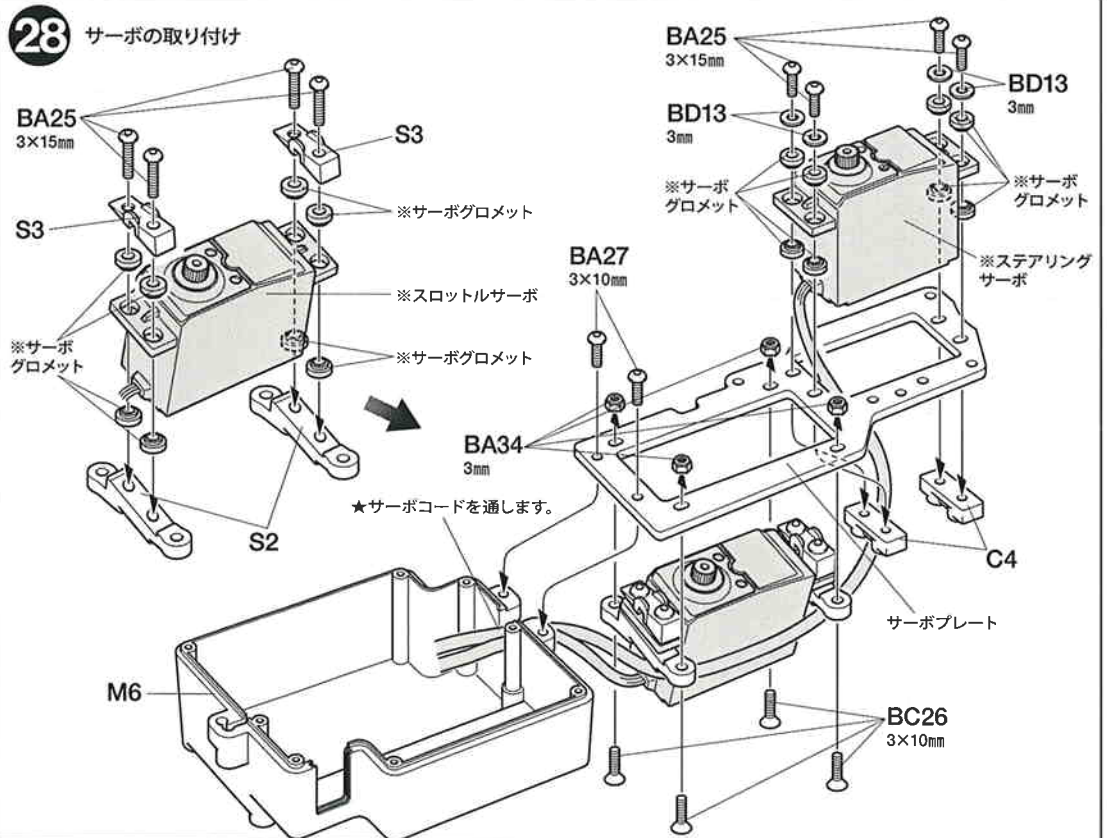
●下記はキット組み立て上で特に注意すべき点を表記しました。TRF801Xシャーシ組立説明書(英文)と合わせてご覧ください。

※の部品はキットには含まれていません。

10 フロントアームの取付け



28 サーボの取り付け

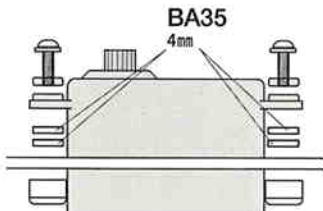


CAUTION!

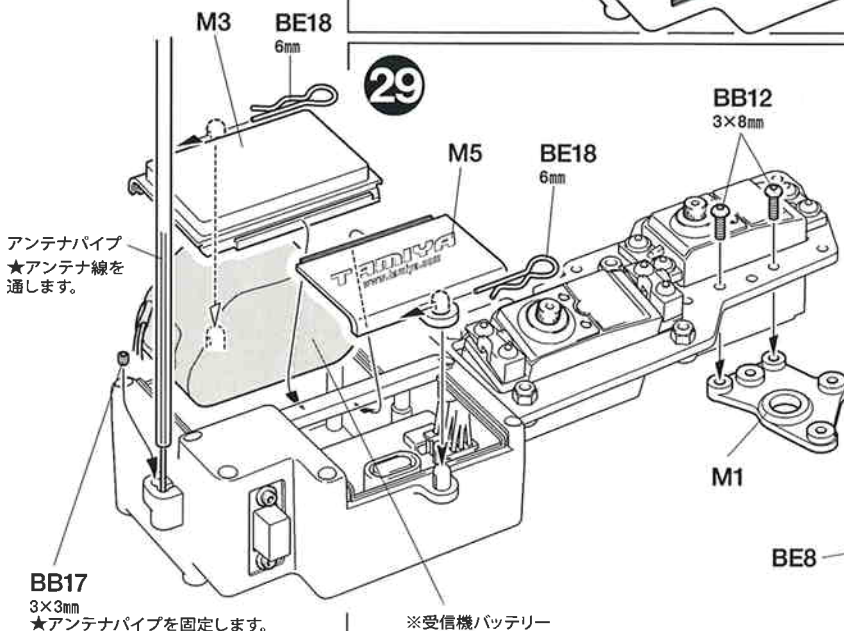
★搭載するRCメカ、エンジンによって、サーボの取り付け位置とスロットルリンケージの取り付け方法が変わります。取り付けの際にはリンケージがスムーズに動くようにしてください。

BA35 ×12
4mm ワッシャー

★サーボがシャーシに干渉する場合は、BA35(4mmワッシャー)でサーボの取り付け高さを調整してください。



29



アンテナパイプ
★アンテナ線を通します。

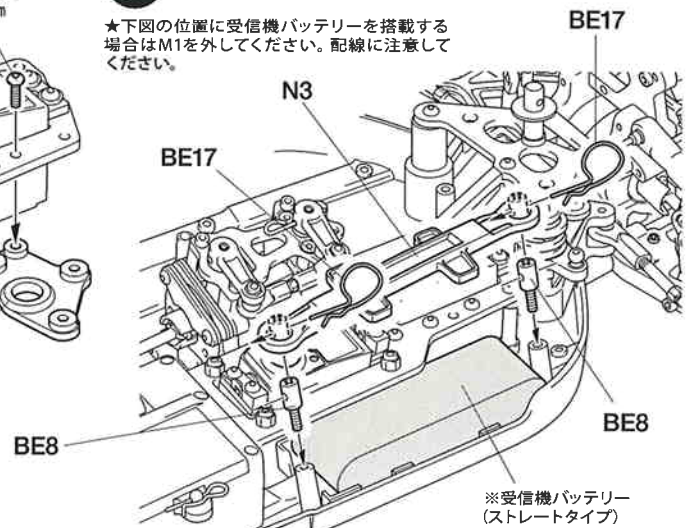
BB17
3×3mm
★アンテナパイプを固定します。

※受信機バッテリー

30

《※ストレートタイプ受信機バッテリー》

★下図の位置に受信機バッテリーを搭載する場合はM1を外してください。配線に注意してください。

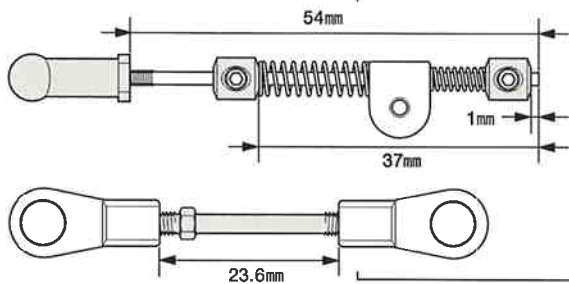


※受信機バッテリー(ストレートタイプ)

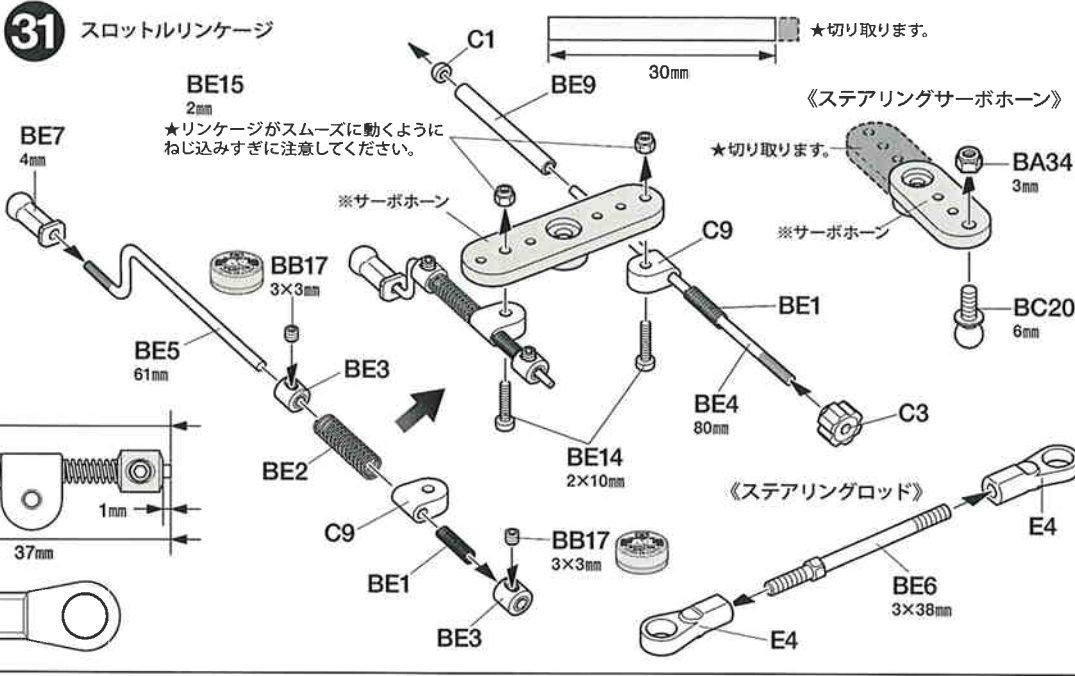
31

★ご使用のRCメカ、エンジンによってスロットルリンケージの取り付けに工夫が必要になる場合があります。リンケージがスムーズに動くように組み立て、取り付けを行ってください。

31 スロットルリンケージ



★ご使用のサーボホーンに合わせて長さを調整してください。



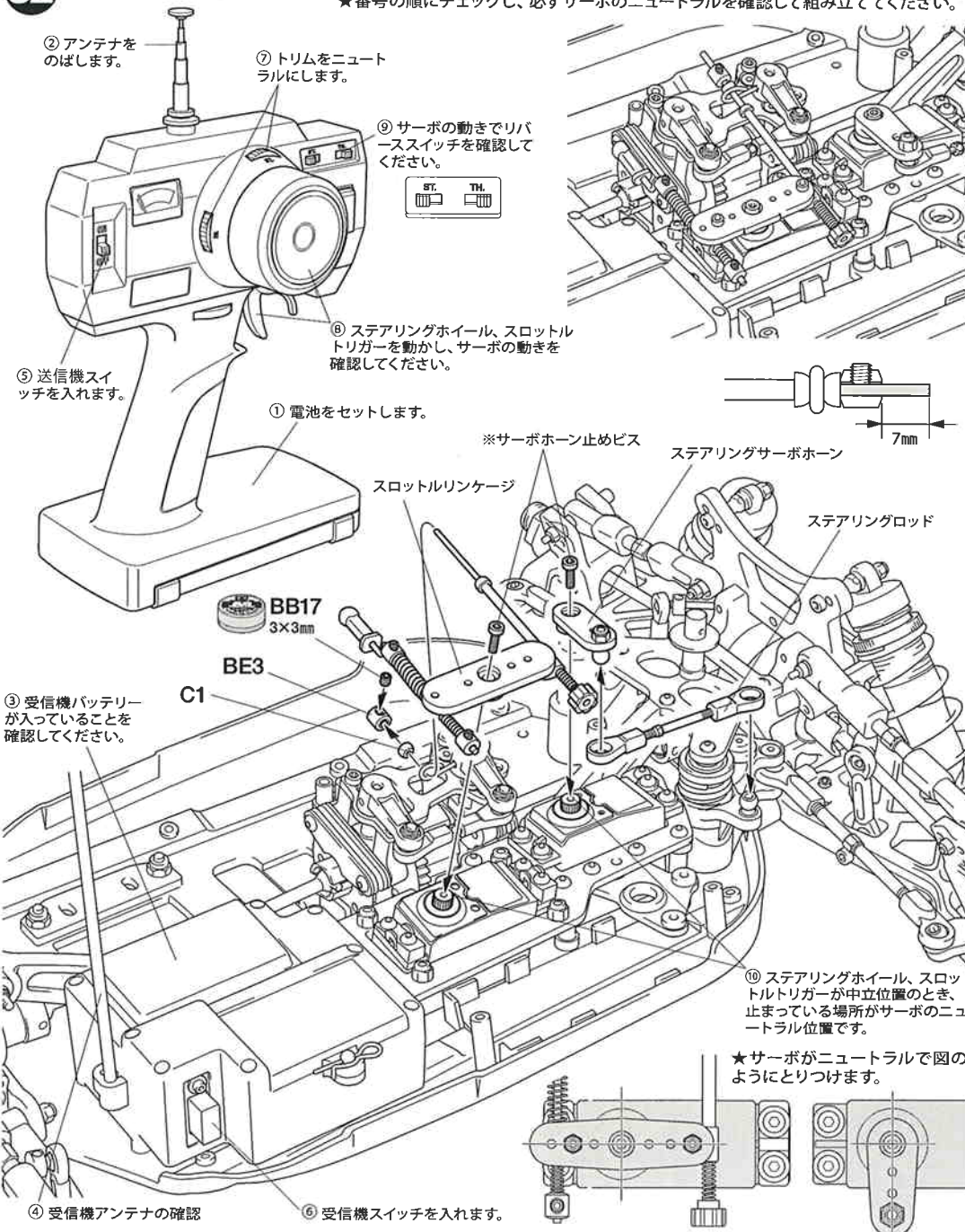
32

★ご使用のプロボセット付属の取扱説明書をよく読んでからお使いください。

32 リンケージの取り付け

RCメカのチェック

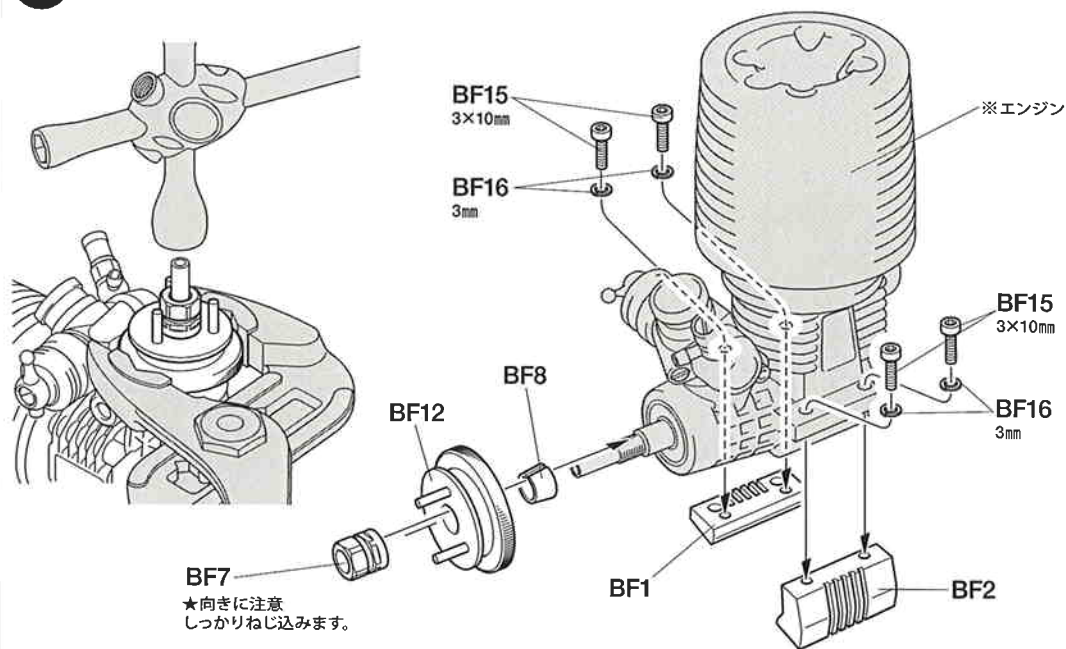
★番号の順にチェックし、必ずサーボのニュートラルを確認して組み立ててください。










★ご使用のエンジン付属の取扱説明書をよく読んでからお使いください。

★フライホイールが緩まないようにパイロットナット (BF7) をしっかりねじ込んでください。

34 フライホイールの取り付け



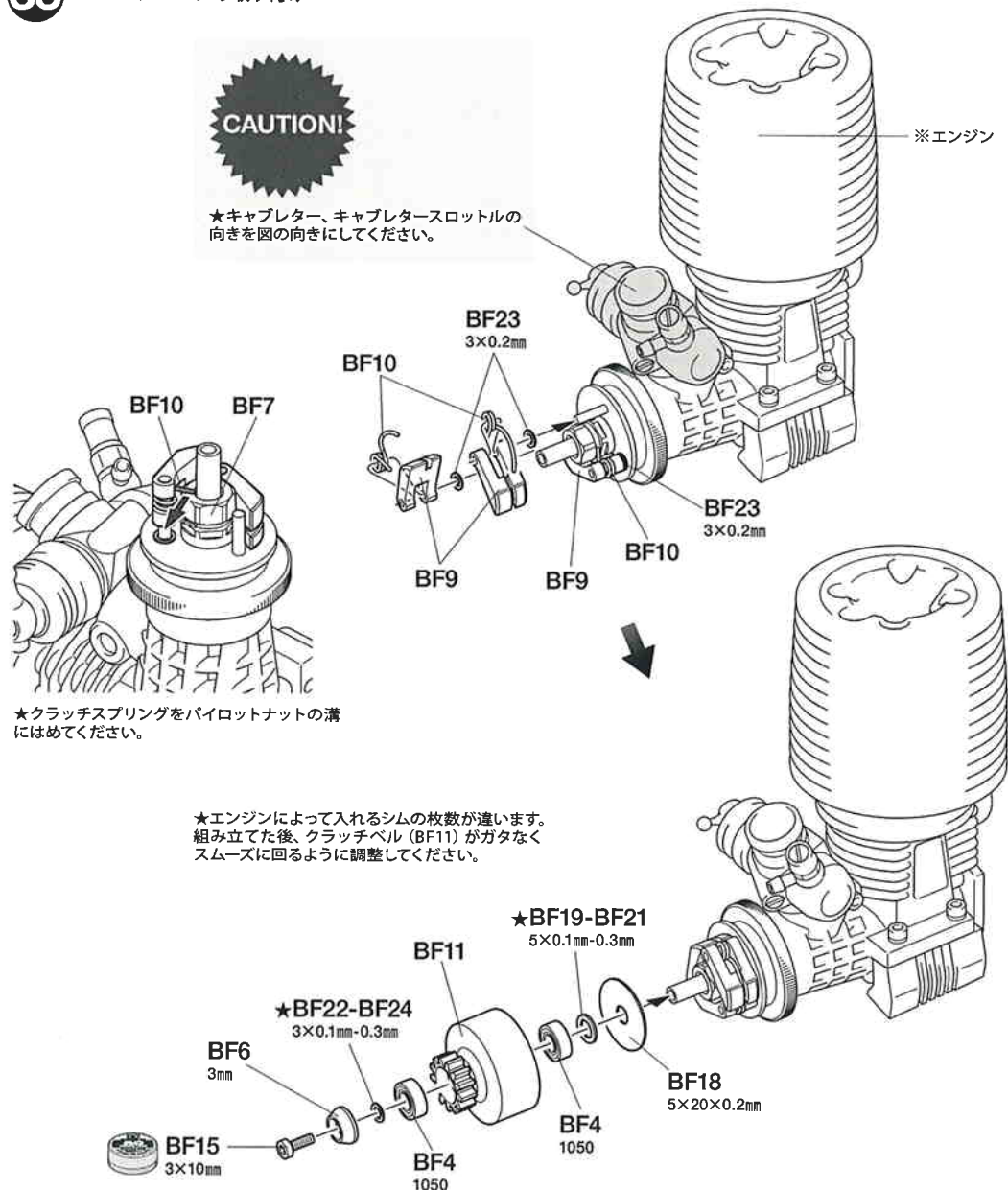
★調整用シム

-  BF17 ×1
5×10×1mm ワッシャー
-  BF19 ×1
5×0.1mm シム
-  BF20 ×1
5×0.2mm シム
-  BF21 ×1
5×0.3mm シム
-  BF22 ×1
3×0.1mm シム
-  BF23 ×1
3×0.2mm シム
-  BF24 ×1
3×0.3mm シム

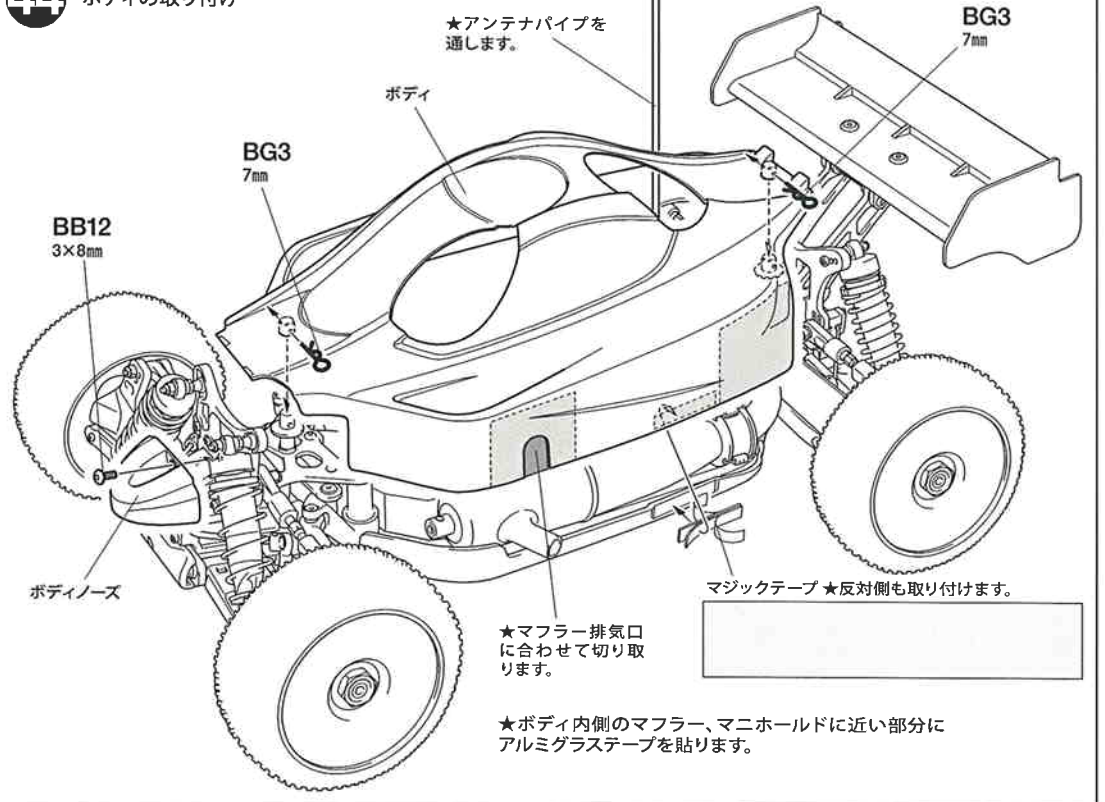
35 エンジンパーツの取り付け

CAUTION!

★キャブレター、キャブレタースロットルの向きを図の向きにしてください。



44 ボディの取り付け



●タミヤのホームページには豊富な情報が満載です。ぜひご覧ください。
タミヤインターネット
ホームページアドレス

www.tamiya.com

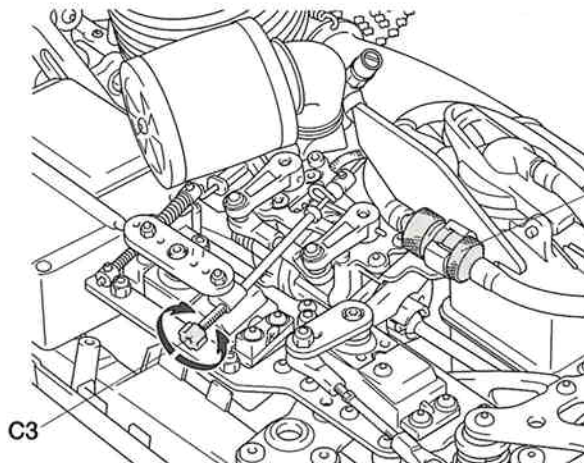
Setting-up

★RCカーはドライバーの操縦の仕方や路面コンディションなどの様々な条件によって、その特性が変わってきます。自分のもっともコントロールしやすいマシンに仕上げていくのがセッティング。組み立て図中に示した各部の寸法やダンパーの調整を基本に、セッティングを進めてください。

●ブレーキの調整

エンジンRCカーは、走行させる上で実車と同じようにブレーキが重要な役目をはたします。エンジン回転をある程度落としてのエンジンブレーキも使えますが、より強力に車を止めるためにディスクブレーキが装備されています。
★エンジンがアイドリング中にはブレーキが作動しないように調整するのが基本です。

★ブレーキリンケージの調整でブレーキの効き具合を調整することが出来ます。C3をしめ込むとブレーキの効き初めが早くなり、逆に緩めるとブレーキの効き初めが遅くなります。

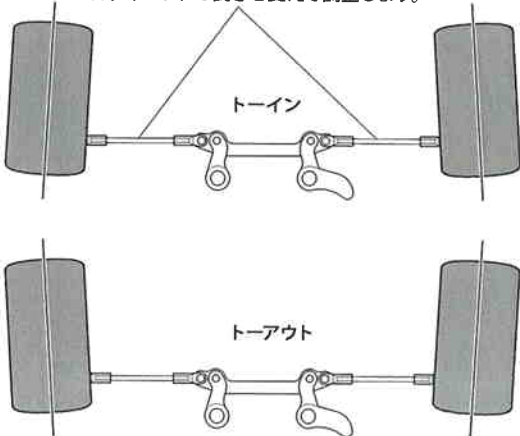


★燃料タンクへの砂やほこりの侵入を防ぐため、燃料フィルターL (GE.81 別売) の取り付けをおすすめします。

●トー角 (トーイン・トーアウト)

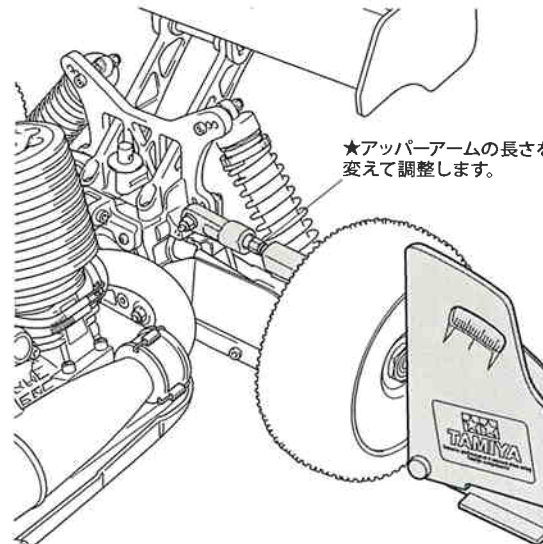
トーインをつけた場合、直進性が良くなり、ステアリングの切り始めの反応がおだやかになります。トーアウトにした場合は、逆にステアリングの反応がシャープになります。ただし、どちらもつけすぎると抵抗になってスピードを低下させたり、アンダーステアやオーバーステアが強くなって操縦しにくいステアリング特性になってしまいます。基本的には、フロントにほんのわずかなトーアウトをつけておくのが良いでしょう。

★タイロッドの長さを変えて調整します。



●キャンバー角

コーナリング中のマシンには遠心力が働くため、車体がコーナーの外側に傾きます。このとき、タイヤにキャンバー角をつけることで接地面積を変え、タイヤのグリップ力を増やしたり減らしたりする事ができます。コーナリング中のグリップを増やすにはネガティブキャンバーに、減らすにはポジティブキャンバーにセッティングします。



ネガティブキャンバー

ポジティブキャンバー